

金沢大学 創発研究者交流会 開催のご案内

多様性と融合によって破壊的イノベーションにつながるシーズの創出を目指す「創発的研究」に日々取り組む若手研究者が一同に会し、自身の研究内容の紹介を通じ、参加者と交流を行う、創発研究者交流会を開催致します。

プレゼンテーション、ポスター展示を実施いたしますので、専門分野を問わず、大学の研究内容に興味がある方のご参加をお待ちしております。

日 時 令和7年3月11日（火）午後2時～午後5時
会 場 金沢大学 宝町キャンパス 医学部記念館 プレゼンテーションルーム
所在地の詳細は、宝町キャンパスマップを下記 URL よりご参照下さい
https://www.kanazawa-u.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2024/04/A3-campas-map_takaramachi-tsuruma2024.pdf)

参加費 無 料

参加申込 下記 URL よりご登録をお願い致します。
<https://forms.office.com/r/tfW5780usp>

概 要 ○**プレゼンテーション** 午後2時～午後3時
創発研究者から、現在取り組んでいる研究内容をプレゼンテーションします。

骨髄不全の分子基盤の解明と臨床応用

発表者：金沢大学 附属病院血液内科 講師 細川 晃平

骨髄不全では骨髄機能が低下し、全血球が減少します。代表例の再生不良性貧血は、自己抗原を認識するT細胞による自己免疫機序が想定されますが、詳細は不明です。

本研究では新規手法で自己抗原を同定し、「なぜ血液が作られなくなるのか？」を解明するとともに、特定の自己抗原に対する免疫反応を抑制する新規治療の開発を目指します。

デザイナーエクソソーム、デザイナー細胞を用いた免疫制御法の開発

発表者：金沢大学 医薬保健研究域医学系 准教授 山野 友義

私はエクソソームを改変し免疫系を制御するデザイナーエクソソームや、mRNA 医薬を用いて生体内の細胞を改造しがん免疫を強めたり、自己免疫疾患

を治療する技術を開発しています。

本発表ではこれらの免疫制御技術について紹介します。

○**ポスターセッション** 午後3時～午後5時

創発研究者が、現在取り組んでいる研究内容、研究成果から生まれることが考えられる新たな技術などについて、ポスターセッションおよびポスター展示を行います。ポスターセッションは、創発研究者と参加者が直接、質疑応答、意見交換など、近くで交流できる機会となっております。